

平成 29 年度 狛江市市民活動支援センター第 1 回運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成 29 年 4 月 21 日 (金) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 50 分
- 2 場 所 市民活動支援センター フリースペース
- 3 出席者 委 員 伊藤聡子 上田英司 内海貴美 大矢美枝子 荻野修 高橋英史  
高橋宗孝 田部井則人 松村正俊 松村雪子 三島瑞子  
事務局 小楠寿和 志田五十鈴 白石珠美 高橋善治 中里紀男 日比野浩  
(50 音順 敬称略)
- 4 欠席者 委 員 伊藤輝芳 西岡邦子 羽田野英博 渡辺敏政
- 5 傍聴者 3 名
- 6 議 題
- 1 報告事項
    - ①アンケート調査の結果について
    - ②専門部会からの報告について
  - 2 協議事項
    - ①狛江市市民活動支援センター こまえくぼ 1234  
平成 28 年度事業報告書 (案) について
    - ②平成 29 年度市民活動支援センター年間スケジュールについて
    - ③平成 29 年度運営委員会の年間予定 (案) について
  - 3 その他
    - ①運営委員の交代について
    - ②運営委員会へのアドバイザーの出席について
    - ③市民センター改修に伴う「こまえくぼ 1234」の移動について
    - ④小委員会の設置について

## 7 会議概要

### 1. 開会

#### (1) 事務局長あいさつ

4 月に人事異動があったため、4 月 1 日付けで事務局長兼地域福祉課長に就任した小楠より挨拶がされた。

#### (2) 委員長あいさつ

委員長からあいさつがされた。

## 2. 議題

### (1) 報告事項

#### ①アンケート調査の結果について

資料に基づき、事務局から説明

開設当初から支援センター利用について寄せられていた意見等もあり、施設面についてのアンケートと開設1年を終えて利用者の満足度に関するアンケートを実施した。

#### 施設利用面に関するアンケート

実施期間：平成29年3月27日～平成29年3月12日

調査対象：127団体（登録団体を中心に支援センター利用団体、個人）

調査方法：メール、郵送、FAX、窓口

回収率：45.67%

#### 利用者の満足度に関するアンケート

実施期間：平成29年4月1日～4月14日

調査対象：121団体（登録団体を中心に支援センター利用団体、個人）

調査方法：郵送、窓口

回収率：57.02%

#### 回答から見えること

- ・利用している団体からは、予想していたよりも、利用しやすいという評価となった。
- ・同時に、フリースペースの利用について予約できないことでの利用しづらさや印刷機等の備品の整備を求める声もあり、今後の改善していく課題も出ている。
- ・接遇に関しては、「概ね満足」が回答数の7割以上という評価もあった。

#### ②専門部会からの報告

事務局より説明

##### ◇情報部会

- ・HPが開設後の1月から会議開始、10人で構成
- ・市民の声の収集と反映、各種講習会の検討
- ・ホームページ利用増のためのキャンペーンや広報部会との交流などの意見も会議の中では出ているので、これから検討していく予定
  
- ・ホームページの登録団体数は現在81団体、14団体から17件の情報発信があった
- ・アクセス数 約15,000件
- ・ホームページの活用についての検討、企画

- ・毎月 1 回、登録団体向けに説明会を実施し、個別の対応もしていき、団体自身から発信することをサポートしていく予定

#### ◇広報部会

- ・10月から活動開始し、9回の会議を実施。
- ・広報誌「こまえがお」を創刊し、創刊号は30,000部発行（うち20,000部は新聞折込み）
- ・発行後、市民からの声もいただき、設置個所への配架数の増などうれしい手ごたえもあった。
- ・広報部会の編集会議でコンセプト、編集の方針等自主的に話し合い、紙面の構成などを決定
- ・29年度はメンバーも増えて、年3回の発行の予定

#### ◇体験学習部会

- ・メンバー3人、3回定例会議
- ・小学校の体験学習について現況調査、夏体験ボランティアで体験学習部会のプログラム実施を検討中

（委員長）今日は結果報告ということだが、アンケートの結果をふまえて、今後、支援センターの運営にどのような形で反映できるかを考えていかなければならない。

#### （2）協議事項

- ①平成28年度事業報告（案）について  
事務局より説明

（委員）報告書の中で、予定通りできたかできないかということに記載した方が、報告が次につながるようになるのではないかと。3つの重点目標があるので、それに沿って報告する方がいいと思う。

（副委員長）幅広い事業が行われているので、大変だと思うが、報告書の中で、最初の総括のところをもう少し具体的にしてもいいと思う。

- ②29年度年間スケジュールについて
- ③運営委員会年間予定について
- ②、③あわせて事務局より説明

（委員長）事務局からの説明にもあったように、運営委員会については年4回の開催予定だが、予算編成や報告書等の提出時期との関係により開催時期が変わることもあり、状況により臨時会を開催する場合もある。

### 3. その他

#### (1) 運営委員の交代について

事務局より説明

- ・四地域センターの代表が今年度交代となるため、崎山委員から羽田野委員に交代
- ・商工会の事務局長が異動のため、川久保委員から渡邊委員に交代
- ・羽田野委員が地域センターの代表になるに伴い、社協会長の認めたものの選出区分からの委員が空席となる

(委員長) 事務局からの説明のとおり、会長の認めたものの枠が1名空いている。委員の補充をどうするかということについて、センターと同様の活動を実践しているところから専門的な意見をもたせるといいのではないか。東京ボランティア・市民活動センターに聞いてみるといいのではないかと思うが、いかがか。

一同承認

(委員長) もう一つ提案として、今までは学識経験者という形での委員会への参加はなかったが、勉強会等で参考になるご意見等をいただいていた山岡氏に、アドバイザーとして今後運営委員会に入ってもらってはどうかと思うが、いかがか。

(委員) 良いと思う。

一同承認

(委員長) それでは、出席委員の承認を得たということで、連絡調整等は事務局にて行うこととする。

#### (2) 市民センター改修に伴うこまえくぼの移動について

(委員長) 昨年度の運営委員会で委員から提案のあった件について、皆様のご意見を伺いたいと思うが、その後、改修について何か新しい情報があれば出してほしい。

(委員) 現在は、市民団体から提案されたものに対して実現の可能性等を調査していて、その結果が出た後に市民アンケートを取り、今年度中に方向性を出す予定。市民センターの調査、改修にあたり、こまえくぼを移動するということは想定されていない。また、準備委員会を経てこの場所に設置したという経緯と開設して1年ということで、市としては、まずは周知を図り活動を盛り上げていくことが先決であり、場所について議論する段階ではないと考えている。

(委員長) 市民センターの場所で窓口だけでもあると、市民活動支援センターと社会教育活動はリンクするところもあるので、よりよい活動ができるのではないかといい点もあるが、開設してまだ1年ということで、その時期ではないということもあると思う。将来的には事業の活動の連携ということを考えていくといい。市民センターに入るということ的前提とするのではなく、事業そのものをどうしていくかということ将来の課題として考えていくことにしたい。

### (3) 小委員会について

(委員長) 昨年度の委員会で、事業の評価について皆さんで話し合えるようにしたらどうかという提案があった。もう少し焦点を合わせた事業展開をしていくためにも、基礎となる勉強会をして、それをもとに小委員会を開き、運営委員会で検討していくという流れができるといいのではないかといいと思うが、いかがか。

(委員) 29年度の目標が3つあるので、その目標に近づくようにするためにはどうしたらいいかということを検討できるかと思う。評価については、6月に狛江市市民参加と市民協働に関する審議会で第三者評価を行うので、その評価が出た段階で、今年度内でできることがあるか、次年度の目標をどうするかということ、年4回の運営委員会だけでは難しいので小委員会のようなところで検討できるかと思う。

(委員) こまなくが今何をやっているのか、今どのような状況が分からないと責任をもって評価することができない。こまなくが行っていることを委員が良いとか悪いとか判断できるためにはどんな資料が必要になるのか、何が分かればいいのかを小委員会のような形で検討していければいいのではないかといい。

(副委員長) 第三者評価も大事だが、自分たちの評価ができないと見直しもできないので、今の意見に賛成。評価も事後評価ではなく、目標設定が非常に大事になってくる。それについては皆さんと一緒にディスカッションしないとけないと思う。

(委員長) 今ご意見いただいたが、小委員会を立ち上げる前に、評価の視点をどうするのかということ、年4回の運営委員会で決めるのは難しいので、そのための勉強会を開いてはどうか。勉強会の準備は事務局と一緒にしていければと思う。

(委員) 今ある計画をどうするか。どういう計画にしてどういう目標にして、月々これが分かればいいというものを作れば、あとはそれに合わせたデータを作れるということが時間をかけずに進めるのではないかといい。

(委員長) 評価もいろいろな視点がある。

(副委員長) 今、NPOの間では、休眠預金口座が話題になっている。休眠預金を使って非営利団体の活動を支援する、その時に事業の評価をするが、どう評価するかということを経営しているいろいろなコンサルティング会社がしのぎを削っている状況でもあり、これまでにない評価軸が議論されているなかで、市民活動支援センターの事業がどう評価されるのかということ是非常に難しいと思う。

(委員) もしかしたら数値にできないものかもしれない、それを皆さんで合意しておかないと、数字ばかり追いかけることになって実体のないものになってしまうと思う。どういうステップで進めていくのか、いろいろな方の意見を聞いて決めていく必要があると思う。

(委員長) 今の時点で評価の視点を決めるのは難しいので、評価の視点を勉強して評価軸を決めていくというプロセスが必要ではないか。少し準備をして進めていきたいと思う。

(委員) 今、市民アンケートをしていて、市の施策の評価をしている。今回のアンケートには「こまねくぼを利用したことがありますか」という設問を今回盛り込んだ。このアンケートは毎年行っているんで、今回出てきた結果で認知度がどのくらいあるのかが分かり、次年度またこのアンケートを行えば、それが一つの指標になると思う。6月には結果が出るので、次回の運営委員会で結果はお知らせできると思う。

(委員) 6月に第三者評価があるということだが、そこでどのように評価するのか。評価というが、誰が見てもわかるような評価でないといけないと思う。市がいろいろなことをする場合にもすぐ時間がかかっている。1年でどうして評価ができるのか、急ぐことはないと思う。

(委員長) 本当に急ぐことはないと思う。急ぐことはないということの意味が分かるように表現していくことは必要だと思う。

勉強会については、正副委員長と数名の委員を中心に事務局と進めていく予定としたい。

次回の運営委員会の日程は、7月12日(水)18時30分開始。

以上で、本日の運営委員会は終了。